

平成27年3月期 第2四半期
決算概要

KANeKA

The Dreamology Company
— Make your dreams happen —

2014年11月11日(火)

株式会社 **力ネ力**

目 次

§	業績概要	P. 3
§	セグメント別事業概況	P. 4
§	業績予想	P. 5
§	トピックス	P. 6

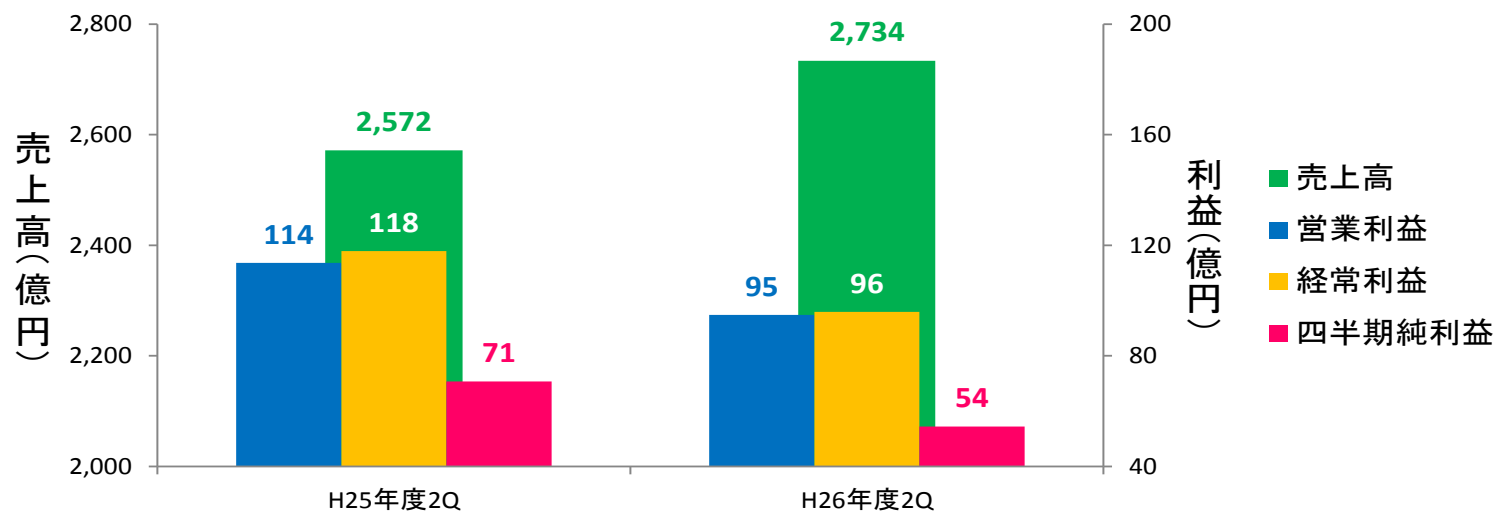
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績概要

- 売上は総じて順調に推移し対前年6.3%の増収、過去最高を更新。
- 利益は食品、電子材料の一時的な落ち込みの影響を受け減益となるが、第3四半期以降巻き返す見通し。

(単位：億円)

	H25年度2Q累計	H26年度2Q累計
売上高	2,572	2,734
営業利益	114	95
経常利益	118	96
四半期純利益	71	54



セグメント別 事業概況

- 売上高は機能性樹脂、ライフサイエンスを中心に6セグメントで増収。
- 営業利益は機能性樹脂、ライフサイエンス、合成繊維が大幅増益となるも、食品、電子材料の一時的な落ち込みをカバーできず。

- 機能性樹脂：モディファイヤーは主に海外市場で事業拡大が進んだ。変成シリコーンポリマーは市場でのオンリーワン製品としての認知度が高く、国内海外市場ともに販売が拡大。
- 食品：食の多様化に対応し、ニーズを先取りした新製品の拡販に努めたが、国内需要の伸び悩みと低価格志向が継続するなかで原料価格高騰の影響を大きく受けた。
- ライフサイエンス：医療機器は血液浄化システム、インターベンション事業とも国内外の販売が拡大。医薬中間体はAPI（医薬品としての有効成分を有する原体）が堅調。還元型コエンザイムQ10の販売増加。
- エレクトロニクス：光学材料は需要が順調に拡大し販売数量が増加。超耐熱ポリイミドフィルムは市場が調整局面に入り販売低調。超高熱伝導グラファイトシートは競争の激化が続き低調に推移。太陽電池は消費税率引上げ後の住宅着工戸数の大幅な減少という厳しい環境にあったが、事業構造改革を進め採算は改善。住宅向けに美観と性能を併せ持つ極めてユニークな建材製品として市場認知が広がっている。
- 合成繊維：アフリカ市場での頭髮分野を筆頭とした高品質、ブランド力による更なる拡販を進めた。

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	H25年度2Q累計	H26年度2Q累計	H25年度2Q累計	H26年度2Q累計
化成品	532	562	10	8
機能性樹脂	419	477	44	54
発泡樹脂製品	321	322	19	15
食品	651	679	25	4
ライフサイエンス	223	264	31	44
エレクトロニクス	228	214	11	△5
合成繊維、その他	198	215	44	55
調整額	—	—	△69	△79
計	2,572	2,734	114	95

業績予想

- 下期は一段の円安の進行、石化・油脂原料価格の下落、わが国の住宅関連需要の回復、当社海外事業の拡大など、事業環境の好転を背景に事業収益は大幅に拡大・改善する見通し。
- 食品は需要期に加え新製品の拡販とコストダウン、電子材料は新規生産設備の本格化により、巻き返しを図る。
- 以上により業績予想は変更せず。

(単位:億円)

	26年3月期実績		27年3月期		前年比	
	上期	通期	上期	通期(予想)	通期	
売上高	2,572	5,248	2,734	5,600	352	6.7%
営業利益	114	248	95	300	52	20.9%
経常利益	118	260	96	290	30	11.7%
四半期純利益	71	137	54	170	34	24.5%

【27年3月期 前提条件】 為替：110円/US\$、140円/EUR、国産ナフサ¥63,000/KL

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

トピックス

天然界面活性剤で合成界面活性剤の機能を強化し
使用量を大幅に低減

新製品

天然界面活性剤サーファクチン(製品名:カネカ・サーファクチン)は、微量混合することで、合成界面活性剤の使用量を100分の1に減らしても、同等以上の表面張力低下効果を維持できることを実証しました。

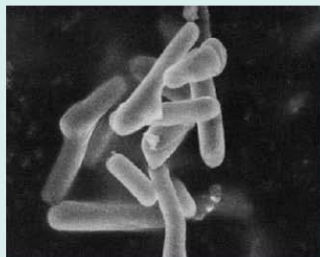
合成界面活性剤は、代表的な化学合成製品であり、台所用品や建築・土木など各種洗浄剤などに使用されています。



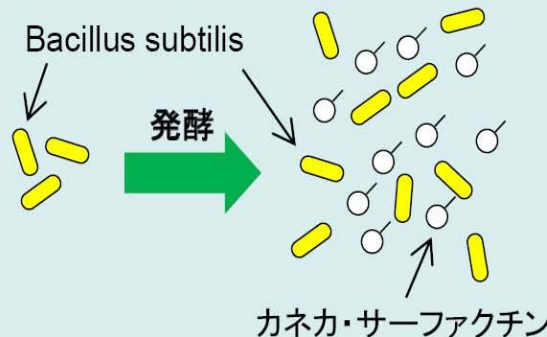
カネカ・サーファクチン

発酵技術によるカネカ・サーファクチンの生産

- ・1968年に*Bacillus subtilis* の培養液から発見された天然物
- ・常温・常圧のマイルドな条件で発酵生産されるサステイナブルな製品



Bacillus subtilis
(納豆菌の仲間)



この効果を利用することで、洗剤など日常で使用される合成界面活性剤の大幅な使用量削減が可能となり、資源の有効利用、使用後の環境への影響軽減につながる可能性があります。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140822>

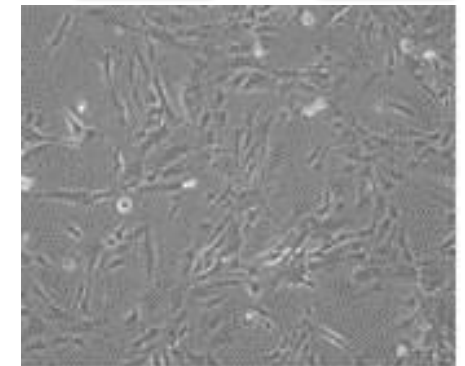
トピックス

科学技術振興機構が「羊膜由来間葉系幹細胞の細胞製剤化と治療応用」を産学共同実用化開発事業に採択

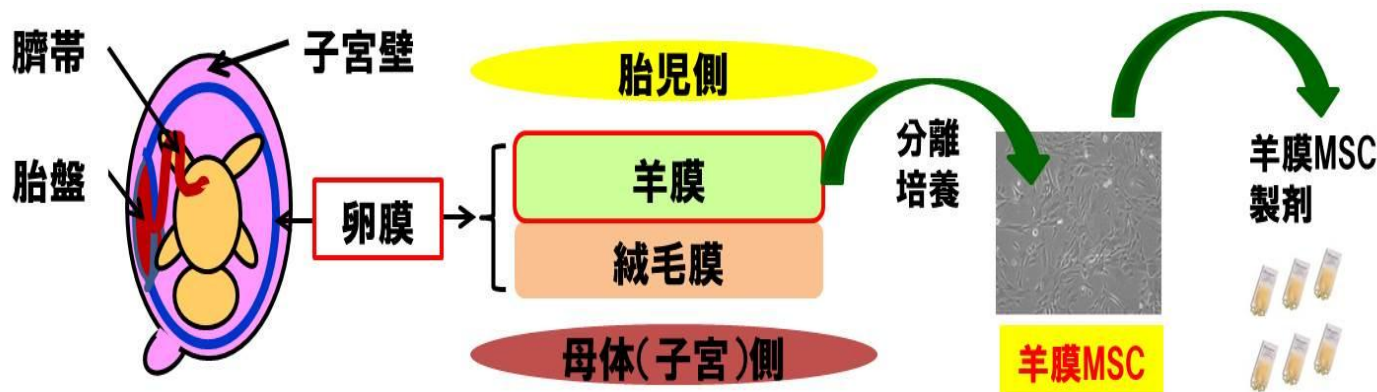
新製品

羊膜由来間葉系幹細胞(羊膜由来MSC)は生体内にある幹細胞の中でも増殖性が高く、移植時の拒絶反応も起こりにくく、しかも、羊膜は出産後不要となり倫理的に問題となりにくいなどの特長があります。この羊膜由来MSCを使用し、急性移植片対宿主病(急性GVHD)およびクローン病を対象とした細胞製剤の開発を進めます。

これを皮切にさまざまな難治性疾患の治療に展開し、2037年には1,000億円規模の事業を目指します。



羊膜由来間葉系幹細胞



ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140910>

トピックス

エノキタケ由来不凍多糖を開発、世界初の量産化に成功

新製品

不凍多糖は氷結晶の成長抑制機能を有する天然の多糖類であり、エノキタケ細胞壁を構成する多糖類の中から発見されました。氷結晶の成長や再結晶化を抑制する機能があることから、水を含む種々の加工食品の冷凍保存において、品質維持に効果を発揮します。

既に上市している不凍タンパク質に比べて、耐熱性、耐酸性に優れており、今後、冷凍食品市場の拡大の中、冷凍の唐揚げ、フライなど揚げ物や、ヨーグルトなど酸性乳製品の添加剤としてのニーズが高まるものと期待しています。

不凍多糖**無添加**の唐揚げ



解凍後、氷結晶の成長や再結晶化により、断面に巣が散見される。

不凍多糖**添加後**の唐揚げ



冷凍前の品質を維持

不凍多糖を添加し、
氷結晶の成長を
抑制

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/141003>

トピックス

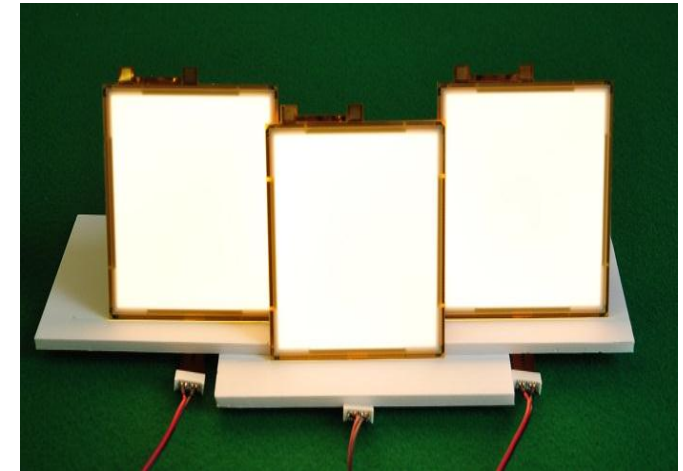
世界最高水準の寿命約5万時間と色変化の少ない有機EL照明デバイスを販売開始

新製品

一般的なLED照明の推定寿命は、約4万時間と言われており、当社はデバイス構造や製膜条件を最適化することにより、長寿命化を実現するとともに、長時間点灯使用したときの色変化も大幅に改善しました。

本年9月より販売を開始しました。

有機EL照明デバイスを製造している100%子会社であるOLED青森株式会社に量産実証設備を既に稼働させており、量産供給体制を確立しています。



今回開発に成功したデバイスを美術館・博物館、レストランなどの商業店舗、ホテル、病室、高級住宅用のデザイン照明など、有機EL照明の特徴が生きる国内および、欧米の市場へ積極的に販促展開していきます。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/141010>

KANUKA

The Dreamology Company

— Make your dreams happen —